

# おだがいさま

odagaisama

第49号  
平成25年  
11月1日発行



## ユニバーサルデザイン… それって、すべての人に優しいデザインだね

### ●今年のシルクガールズはここが違う!!

今年も障がいのある人と共につくるシルクガールズのコレクション(ファッションショー)が鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまの運動会(10/5開催)で共同企画され、大盛況で幕を閉じました。今年で4年目になる山形県立鶴岡中央高等学校総合学科被服系列シルクガールズ・プロジェクト。メンバーの丸山千晶さん(3年生:リーダー)、阿部咲希さん(3年生)、本間智晴さん(3年生)は、「子どもたちや高齢者、

障がい者の方々等、幅広い方々に主役になってもらいファッションを楽しんでもらいたい。そして、鶴岡シルクの良さを感じてもらいたいです。」と話してくれました。

### ●挑戦「ユニバーサルデザイン!!」

「すべての人が楽しめる、すべての人に優しい、そういったユニバーサル・デザインに今年は挑戦したいんです。」こう話す高校生たちの挑戦は決して容易ではなかったと言います。

「それぞれの方の好みを取り入れながら、何度も何度も採寸して、上手いかない事の方が多かったけれど、もっと“いいものをつくろう”という意欲がどんどんわいてきた。今までやった事のないことに挑戦してきたことで、学ぶことが多かった。と話すシルクガールズに芽生えた“福祉の芽”は、この日、どの花よりも美しく花開きました。



シルクガールズの、阿部咲希さん(左)・丸山千晶さん(中央)・本間智晴さん(右)



# 子どもも私たちの未来を応援する

「福祉の芽」を育て  
人たちの活動の  
場

「病気や障がいが教えてくれた気持ちを、未来に(子どもたちに)届けたい!」

「子どもたちの未来から、パワーをもらえるんです。だから、子どもたちの未来に大切な何かを残したい、そんな思いが、これまでの活動を



こっそりプレゼントを用意していた子どもたち  
あつという間に囲まれる「たけちゃん・りえちゃん」

支える原動力となっているんです。」そう話す武久明雄さんは、四十四歳の時に脳卒中で倒れて以来、重度の四肢麻痺となりました。それをきっかけに、「病気や障がいが教えてくれた気持ちを、未来に(子どもたちに)届けたい!」という思いで、奥様の利江子さんと共に精力的に交流活動を続けています。

## ●お誕生日会に今年もご招待

九月二十日(金)、今年もくしびき南部保育園では、武久さんと利江子さんが園児のお誕生日会に招待され、「未来を応援する」活動が行われていました。

## ●「紙芝居」を通して

武久さんは、活動の中ではご自身を「たけちゃん」、利江子さんを「りえちゃん」と子どもたちに紹介します。その「たけちゃん・りえちゃん」の活動で使用される小道具の一つに手作りの「紙芝居」があります。

「紙芝居」で語られるお話の内容は、ご自身の病気体験をもとにしたストーリーで構成されており、かわいらしい動物キャラクターが次々に登場します。「たけちゃん」はこの「紙芝居」



かわいらしい動物が次々登場する紙芝居

を通して、これからの未来を創り上げていく子どもたちに、ご自身の病気体験や障がいの話を語り伝えていきます。

この「紙

芝居」には、「好き嫌がなく食べることの大切さ」や「健康であることの素晴らしさ」「生きることの喜び」などが、動物たちによって優しく伝えられる、そんな工夫が施されています。

## ●子どもたちと真摯に向き合う瞬間

かわいらしい動物キャラクターが次々登場する「紙芝居」が終わると、子どもたちと真剣に向き合う質問タイムの始まりです。

「ベッドからは、びんやちぎって起きるの?」「車いすから降りるとどうなるの?」「など、好奇心あふれる子どもたちの質問が飛び交います。「た

けちゃん・りえちゃん」は、そんな素直な質問や疑問に「ひとつひとつ丁寧に答えていました。

### ●子どもたちの未来につながる「お手伝い」



車いすの「お手伝い」をしたくて行列を作る子どもたち

やら、「たけちゃん」の車いすのお手伝いをはじめます。「お手伝い」をしたい子どもたちが行列を作るほどです。

### ●「福祉の芽」が芽生える瞬間

「たけちゃん・りえちゃん」からの「未来へのメッセージ」を子どもたちが真剣に受け取っている様子は、「子どもたちの未来を応援している風景」であり、鶴岡市の福祉の芽が芽生えていく瞬間、そう感じられるものでした。

## 「昔がたり」で「こころ育て」を…

「小さいころ、自分が聞いた昔ばなしを子どもたちに伝えたい、という思いから始まった。」そう話してくれる「あつみ昔話の会」の三浦牧さん（代表）と本間悦子さんは、先日行われた会食交流会でも、身振り手振りを交えた地域で「昔がたり」とよばれる昔ばなしで、小学生と地域住民の皆さんが身を乗り出して聞き入るほど、会場を魅了します。

### ●最初の頃は…

三浦さんは、ひとりで地元の保育園や小学校で「昔がたり」の活動を始め、その後、田川民話の会に所属して、友人とともに「あつみ昔話の会」を立ち上げました。

今では、保育園や小学校はもちろん、デイサービスや地区の行事など活動場所は、鶴岡市全域に広がっています。

これまでに語った昔ばなしは百種類以上にもおよび、小さなお子さんから高齢者まで、語る相手の年代にあわせて話す内容を替える工夫をしているそうです。

### ●「こころ育て」を願いながら…

子どもたちに「昔がたり」を始めるときは、いつも「子どもたちが大人になったときに、自

分の子どもにも語れるように」と、そして「地元言葉で聞いたものが心に残り、『こころ育て』にもつながってほしい」と願いながら語っているそうです。「これからもそう願いながら昔がたりを続けたい」と、優しい表情で話してくださいました。

鶴岡市社会福祉協議会は、たくさんの方の福祉の芽が育まれていく地域づくりを目指して「おだがいさまのまちづくり」を推進していきます。



「こころ育て」の願いを込めて語られる本間悦子さんの「昔がたり」

## 表彰

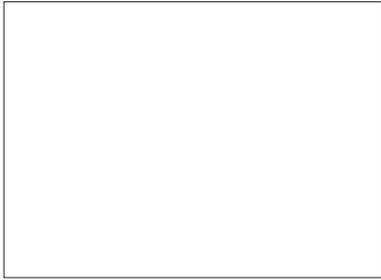
去る10月17日(木)に中央公民館で「福祉のつどい」が開催され、長年、地域福祉の向上に貢献された方や団体へ難波会長から、表彰状・感謝状が贈呈されました。

### ◆表彰状

- 長谷川 松 夫氏 (鶴岡地域)
- 山中 克 子氏 (鶴岡地域)
- 大場 静 江氏 (鶴岡地域)
- 石塚 恵 子氏 (藤島地域)
- 布川 よしみ氏 (藤島地域)
- 渡部 幸也氏 (羽黒地域)
- 香風会 (鶴岡地域)
- 鶴岡市櫛引地域婦人会

### ◆感謝状

- 鼠ヶ関自治会 結いネットワーク様
- 宝田整形外科クリニック様
- 鹿児島山ライオンズクラブ様



## 情報掲示板

### 第26回 赤い羽根共同募金 チャリティ社交ダンスパーティの開催

鶴岡市をはじめ庄内一円の社交ダンスサークルが一堂に会し、チャリティダンスパーティーを開催します。

- 日時 11月17日(日) 18:30~21:00
- 会場 鶴岡市小真木原総合体育館(3階アリーナ)
- 参加費 1,000円 ※参加費の一部は赤い羽根共同募金に寄付されます。
- 主催 チャリティ社交ダンスパーティ実行委員会
- 問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課



### 鶴社協 合同作品展 ~楽しさを形に~

- 日時 11月21日(木)~24日(日) 9:30~18:30  
※最終日の24日(日)は15:00まで
- 会場 鶴岡アートフォーラム 1階ギャラリー
- 入場料 無料
- 参加施設 デイサービスセンター  
たかだて・なえづ・とようら・ふれあい・おおやま・くしびき・愛寿園  
特別養護老人ホームおおやま  
鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま  
もみじが丘
- 社協施設をご利用いただいている利用者の合同作品展です。どなたでもご覧いただけますので、ぜひお越しください。  
多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております!!

## ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます  
(平成25年8月10日~10月9日までのご寄附を掲載しています)

### ★一般社会福祉事業へ

#### ◎鶴岡福祉センターへ

- 藤島カラオケ愛好会 様 30,000円
- 庄内なつメロ会 様 100,000円
- 鶴岡カラオケ友の会 様 30,000円
- 朝陽第四小学校昭和十六年卒業同期会 様 63,092円

#### ◎藤島福祉センターへ

- 曹洞宗山形県第三宗務所第九教区 様 40,000円

#### ◎温海福祉センターへ

- 匿名 10,000円

### ★東日本大震災の避難者支援へ

- つるおか思い出の歌愛唱会 様 60,000円

### ★高齢者福祉センターおおやまへ

- 大山フードセンター 様 4,400円

### ★くしびきデイサービスセンターへ

- 産直あくり 様 梨ジュース (120本)

### ★とようらデイサービスセンターへ

- 三瀬配食ボランティア 様 50,000円

### ★地域福祉センターなえづへ

- 谷野 和子 様 各種タオル (54枚)

### ★もみじが丘へ

- 五十嵐ハルエ 様 20,000円

### ★くしびき南部保育園へ

- 東南いきいき健康クラブ 様  
メロディーバル、お手玉、塗り絵セット、テープ(全29箱)

#### お詫びと訂正

第48号 P3 1段目右から2~3行目「全二十七町内会」は「全町内会」の誤りでした。  
お詫びして訂正致します。

## おだがいさま

第49号  
平成25年11月1日発行  
発行部数 49,300部



### 編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会  
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 0235-24-0053

藤島福祉センター TEL 0235-64-3100

羽黒福祉センター TEL 0235-62-4534

櫛引福祉センター TEL 0235-57-5300

朝日福祉センター TEL 0235-53-2795

温海福祉センター TEL 0235-43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。